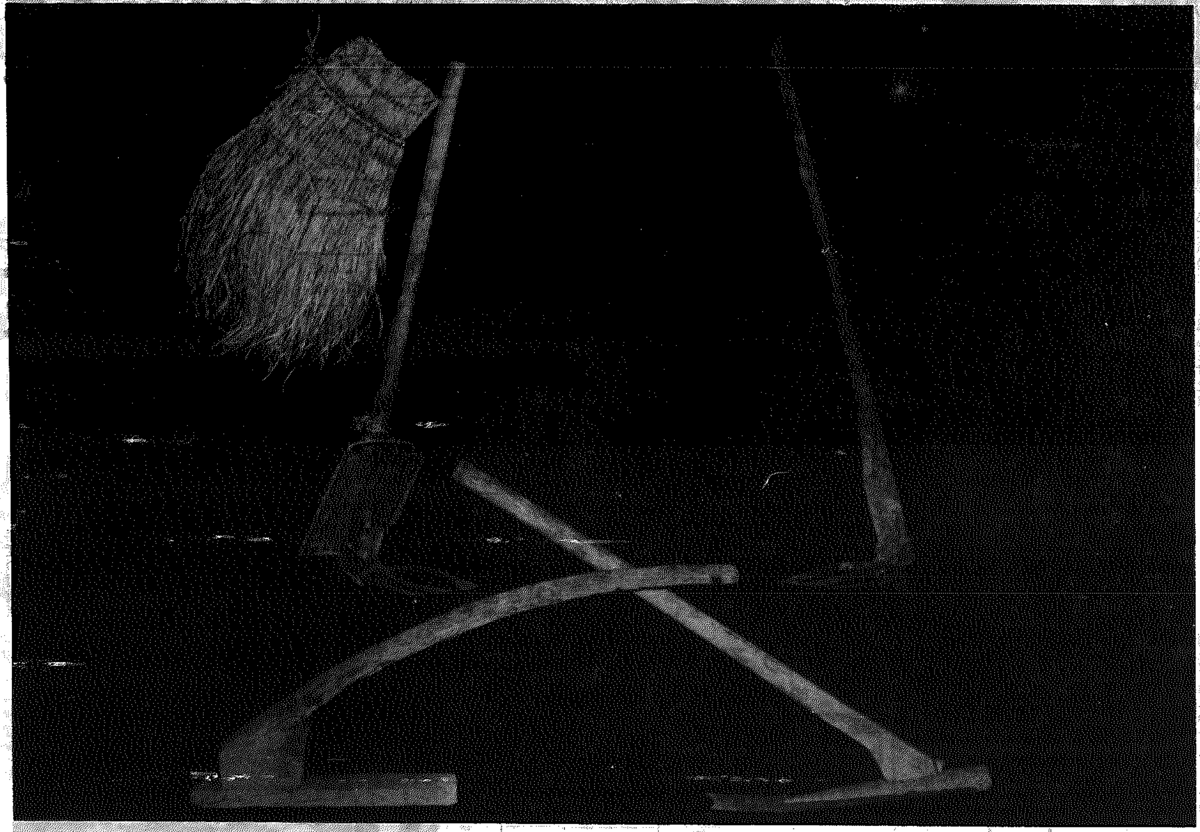
'77 5
No. 60
昭和52年5月1日発行
発行　横越村役場

広報よこごし

おもな内容
1. 参議院補欠選挙5月22日（1P）
2. 住民税（個人）減税（2P）
3. 計量器検査をうけましょう（2P）
4. 嘱託員会議開く（2P）
5. 安全作業のすすめ（2P）
6. 子供を水から守りましょう（3P）
7. お役に立つ福祉電話（3P）
8. ようこそ「セツコ」さん（4P）
9. うれしい話（4P）



横越村民具資料 No.4
蓑（みの）と鍬

―よく聞き―よく見て―よく選ぶ―

参議院補欠選挙

投票日　五月二十二日

投票時間　午前七時～午後六時

参議院県選出議員に欠員が生じ、その補充をするための補欠選挙をきたる五月二十二日行なうことが決定しました。

今回の補欠選挙は予期せぬことではあるものの保革迫仲、与野党接近という政治情勢下で戦かう七月の参議院通常選挙の方向を占なう前哨戦ともみられ、国政上極めて重要な意義があることを忘れてはなりません。

昭和五十年にはお金のかからないきれいな選挙をめざして公選法の一部が改正され、公職の候補者等はいつ、いかなる場合でも寄付行為をすることが禁止されました。しかし、昨年の衆議院選挙ではこうしたこととは関係なく、各地で買収や、もてなし等の違反事件が起き、悪い習慣は依然としてあとを断ちません。

私達の大切な政治参加の一票は、「よく聞き、よく見て、よく選ぶ」をモットーに、何ものにもとらわれない自由な意志で行使しましょう。

◈不在投票の活用を◈

―手続きは早めに―

投票日に所用等で投票所へ行けない方は、前もって不在者投票をすることができます。印鑑をもってご来場ください。（入場券が届いてる時は入場券も持参）

なお、身体障害者手帳または戦傷病者手帳の交付をうけている身体に重度の障害のある方で選挙管理委員長が発行した「郵便投票証明書」をお持ちの方は、郵便による不在者投票ができます。ただしこの場合投票用紙の請求は、投票日の四日前までですからご注意ください。くわしい手続きは選挙管理委員会へおたずねください。

不在者投票の日時場所

一、期間　4月29日～5月21日
二、時間　午前8時30分～午後5時
三、場所　横越村役場

選挙権と投票所入場券

今回の選挙の名簿登録基準日が四月二十八日と定められました。したがって選挙権のあるものは、次の住所要件と年令要件を満たしているものです。

なお、国の選挙では他の市町村へ転出したものでも、旧住所地で、登録されていれば旧住所地で投票できます。ただし、新住所地で登録された場合は旧住所地で投票はできません。

(1)住所要件
名簿登録基準日（4月28日）現在で三か月以上（1月28日以前に住民登録届）住んでいること。

(2)年令要件
選挙当日（5月22日）で満二十才以上（昭和32年5月23日以前出生）であること

入場券

前記の選挙権のあるものには、五月十二日頃、嘱託員（区長）を通じて送付しますから、届かなかったときは、早めに選挙管理委員会へお申し出ください。

◎投票所

第一投票所	横越公民館
第二投票所	公民館沢海分館
第三投票所	木津円通寺
第四投票所	二本木公会堂
第五投票所	公民館小杉分館
第六投票所	藤山クラブ
第七投票所	焼山旧分校
第八投票所	川根谷内上集荷所

選挙の御用件、御照会はこちらへ

場所　役場二階
横越村選挙管理委員会
電話二一〇九番（選挙専用）

横[illegible]

風薫る五月の季節を迎え、農耕作業は日増しに忙がしくなり、それにひきかえ、小学一年生もようやくランドセルが板について来た。

公民館の運営審議委員、分館役員、社会教育委員、体育協会、文化団体、その他の役員も決まり、今年度の社会教育に対してエンヂンがかゝった。道に逢う人々との挨拶も暗い冬を忘れ、暮しやすい季節を満喫してる。しかし、時には、「もっと勉強をしておけばよかった。」「あの時の交通事故が……」と、何かにつけて過ぎ去った過去を悔んだ話を聞く。しかし、過去は、過去である。反省する事は良いとしても、永久に取りかえしのつかない、どうしようもならない過去をしきりに悔んだりしている。

「しづやしづ、賤のおだまき、くりかえし、むかしを今に、なすよしもがな。」と、いって見ても所詮、どうにもならない過去であり。これをクドクドく云うことを「愚痴をこぼす」と云う。愚はオロカであり、痴はタワケである。すんだことをアレコレ愚痴をこぼすのは、まことにオロカなタワケものゝすることである。愚痴をこぼすより、これから愚痴をこぼさない為にも「生涯教育」を推進する。公民館は、住民の自主的な社会教育機関である。

教養、趣味、その他の集会に積極的に参加し、利用を図り、村民自身の創意と責任において、民主的に運営される事を望んでおります。子供に対して、「身心共にたくましく育って欲しい」と、願う親心に万分の一のお手伝いが出来る機に、少年スポーツ教室も皆様のご協力により開催されると思います。楽しく子供らしい。しかし、これから「愚痴をこぼす」ことのないように、過去を悔いない為にも地域にそった活発な活動が展開される事を望んでいます。

学ぶに暇（イトマ）なしと云う人は暇あるも学ぶ事あたわず（内藤）

みんなで投票、明るい社会